

とびっく

3月26日「第30回蚕糸の森まつり」(蚕糸の森まつり協議会主催)にNPOビーンの啓発活動の一環として参加。

# NPO BEEN

特定非営利活動法人 自転車環境創造ネットワーク

〒108-0072  
東京都港区白金2丁目地先  
白金高輪バイクイン内  
事務局 TEL: 03-5793-4340  
FAX: 03-5793-4347

春季号

2017. 3. 31

## 「自転車活用推進法」



自転車環境の大きな転換点に!!

平成25年12月20日に、自転車活用推進議員連盟によって提言された「自転車活用推進法案」が、平成26年12月9日に参議院で可決成立。6ヶ月後の本年5月には施行されます。環境負荷がなく災害時の移動にも便利な自転車の活用を進めることで、自動車依存を減らし、国民の健康増進や交通混雑の緩和につなげることが、推進法の理念としてうたわれています。

交通関係の専門家は、自転車環境の大きな転換点になると評価するとともに、国と地方自治体が一体となって、自転車活用を進める事で交通体系の見直し、コンパクトなまちづくりも加速すると、期待を示しています。

### 国と自治体が一体となって推進

法では、自転車活用を進めるために国と自治体の責務として「自転車活用推進計画」の作成を義務づけ、その重点策として14項目を挙げています。

そのうちのおもな施策は以下の通りです。

#### ●自転車レーンなどの整備

●自転車走行空間を確保するためにパーキングメーターの見直し

- シェアサイクル、レンタサイクルなど施設の整備
- 安全性の高い自転車の供給
- 情報通信技術による自転車の管理
- 自転車のルール、マナー教育
- 災害時の有効活用
- 自転車を活用した観光客の誘致

重点施策の中でも、道路交通法の改正によって、自転車は車両として車道の左側走行が原則となったため、車道に自転車レーン、また自転車専用道路を整備することが急務となります。

### NPOビーンとして支援できること

自転車活用推進法がより有意義に機能するには、国と自治体任せにするのではなく、民間の知恵を活かしていくことが重要です。NPOビーンは駐輪場の管理運営を通して違法駐輪などの啓蒙活動を進めてきました。これからの活動としては、自転車活用推進法の重点施策としてあげられている、シェアサイクル、レンタサイクルの普及、また自転車のルール、マナー教育プログラムの作成などを支援していきたいと考えています。



# みんなが住みよい

平成29年交通安全年間スローガンが決まる

「**ペダルこぐ 免許はないけど ドライバー**」

比留間綺生さん（東京都台東区立駒形中3年）

平成29年使用の交通安全年間スローガン（全日本交通安全協会と毎日新聞共催）の募集には、全国から約7万点の作品が寄せられました。審査の結果、内閣総理大臣賞（最優秀作品）をはじめ各賞合計12作品が選ばれました。

最優秀作品3点のうち、1点が自転車利用

自転車利用者への  
責任感を訴える

者への責任感を訴える、比留間綺生さんの作品でした。利用者の増加にともなって、自転車事故が社会問題化しています。誰もが気軽に乗れる自転車だからこそ、責任感をもってもらいたい、スローガンには比留間さんのそんな強い思いが込められています。

# まちづくりの主演

## ●自転車レーンの現状について考える

自転車活用推進法の施行によって、今後、自治体は自転車の安全と安心を確保するために、自転車レーン、自転車専用道路の整備への取り組みを進めることが義務づけられます。平成27年6月1日に施行された改正道路交通法によって、自転車は車両、車道の左側通行が原則

となったことから、自転車利用者にとって、自転車レーン、専用道路の整備は大歓迎といたいところですが、困った問題が起きています。

せっかく整備された自転車専用レーンを駐車場代わりに利用するドライバーが少なくないのです。専用レーン上に自動車も停車していると、それを避けるために自転車は、車道中央側にふくらむよう通行せざるをえず、後続車との事故に巻き込まれる危険が心配されます。

ドライバーに専用レーンへの理解が十分でないことが、こうしたマナー違反につながっていると考えられます。「自動車天国日本」では、まだまだ「自転車後進国」なのかもしれません。警察による取り締まりを強化するとともに、ドライバーへの啓発活動をもっと積極的に進めてもらいたいところでは。



↑自転車ナビマークを完全に無視して駐車 ↑自転車は、車を避けて車道側を通行

5月は自転車月間

5月5日は自転車の日

自転車活用推進法の施行によって、これから5月5日は自転車の日そして5月は自転車月間となりました。この日と重なり、各地で自転車に関係するイベントが企画、開催されることでしょうか。

## 約80%の主婦が、 自転車で右側通行！



昨年の秋の交通安全運動を前に実施された自転車利用者への実態調査で、回答した主婦約4,000人のうち、約80%が自転車での右側通行について「頻繁にある」「時々ある」と答えています。

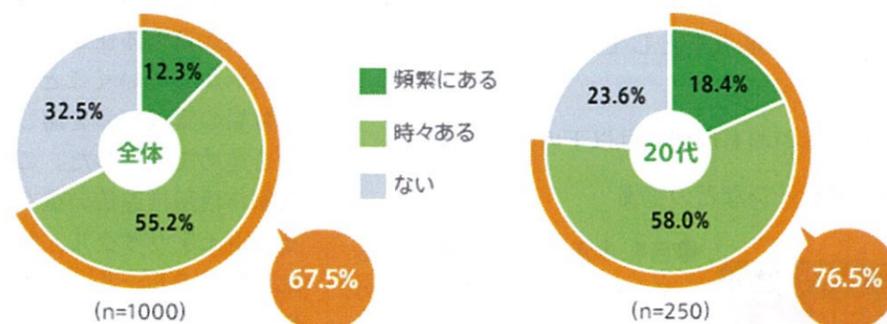
右側通行すると、信号のない交差点で、正しく左側通行してきた自転車との出会い頭衝突事故を引

き起こすだけでなく、さまざまなヒヤリハットでハンドル操作を間違え、大きな事故につながる危険性があります。

交通安全年間スローガンに恥じないように、自転車は車両、車道の左側通行を厳守すること、自転車利用者が守るべき最低限のルールです。

自転に乗っているときに、路側帯で自動車と逆方向に走ったことがありますか

(SA)



## “欠陥自転車にご用心”

自転車が走行中に突然壊れる事故が、ここ10年で2.5倍（国民生活センター）に増えたと報告されています。走行中にハンドルが外れた、前輪が脱落した、ハンドルとサドルをつなぐフレームが折れたなど、考えられないような事故によって重傷を負う被害も発生しています。

昨年12月には、自転車を購入して2日後に、ギアの欠陥でペダルが空転、転倒して後遺症を負った男性によって、ギアメーカーを相手取り約8,100万円の損害賠償を求める裁判も起こされています。

現在、市場に出回る自転車の90%が輸入品で、その多くがネットで購入されているのですが、輸入品の安全性チェックにはネットと販売店とは

差があり、これが欠陥事故の発生原因につながっているのではないかと、指摘する専門家もいます。一般的なシティ車を買求めるときには、信頼できる自転車店でBAA（自転車協会認証）マーク（写真）を確認して買求めること、それが安全、安心の自転車選びの基本です。



この種のマークには製造上のトラブルで事故が起こった場合、製品の補償や賠償措置が受けられる保険的な役割もあります。また自転車は自分の命を乗せているという心構えで、定期的なメンテナンスを自転車専門店ですることも大切です。

# 自転車アメリカ西部を走る

4

出水 豊

ネバダ砂漠の真ん中を一本のハイウェイが走っている。ルート50だ。ちなみに日本で言う高速道路はアメリカでは、「フリーウェイ」と呼び、ここより北を東西に走っている。アメリカでは自転車のことをバイクと言うし、度量衡もマイル、フィート、ポンド、ガロンで、私たちにとってはなともわずらわしい。

ところでバスや乗用車はほとんどがフリーウェイを走るので、私たちバイク班がサンフランシスコからソルトレイク・シティを目指すこの一般国道ルート50は、ほとんどが大型トレーラーや、四角くまとめた牧草を山積みにした大型トラック、小窓から馬が長い首を突き出している家畜運搬車などだ。

後ろを走っていた息子の望（のぞむ）が、「アッ、団長！」と大声を上げた。自転車のペダルを漕ぎながら首を捻じ曲げて振り返ると、大きなトレーラーが家を一軒積んで走って来る。木造家屋を縦二つに割って積んでいるので、内部の間取りが丸見えだ。家もろとも引越せしとは、なんとまあ大雑把な…。

こうした二、三両連結の大型トレーラーが前から後ろからよく走って来るが、とても怖い。自転車は路肩を走っ

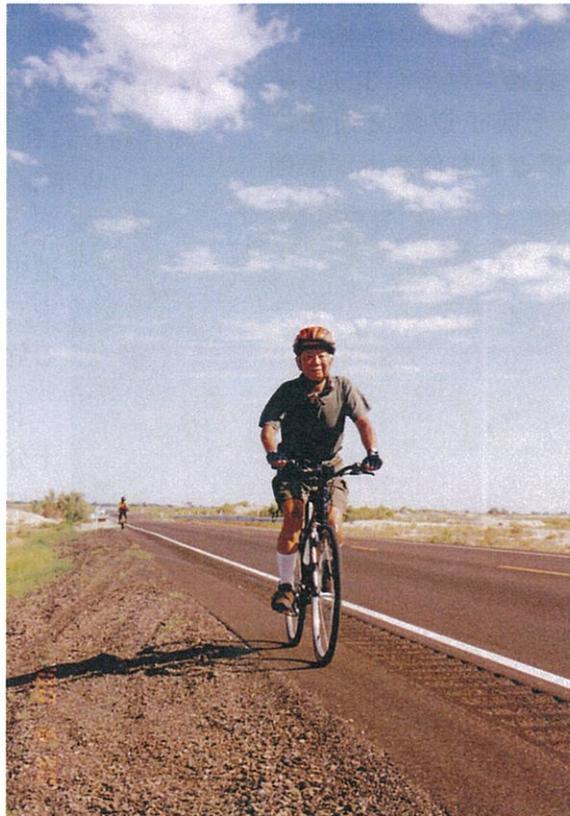
ているので、踏み外して砂漠にのめり込まないよう舗装道路の端ぎりぎりの所を走る。トレーラーが横を通る時は背中を丸めて路面と、くるくる回る前輪を見つめている。風圧で道路の外に

吹き飛ばされないようバランスをとる。あとは折るのみ。

アメリカでは右側通行だから、自然に砂地と反対側の左へ自転車を傾けてしまうのだが、これが怖い。後ろからトレーラーが「ゴーツ」と音を立てて迫って来る。なんとか飛ばされないですんだと思った途端、牽引された二両目のトレーラーとの連結空間に風圧で吸い込まれそうになる。あわててハンドルを右に切る。この連続だった。

でも対向車がない時、トレーラーに限らず後続車は私たち自転車から大きく離れて通り過ぎて行ってくれる。さすが車が普及していてマナーがいいなと感心したが、そうではなかった。権利意識が高いアメリカでは、もし事故を起こしたら目の玉が飛び出るほどの賠償金をとられるからだ。（つづく）

## ルート50をバランスをとりながら疾走



### 事務局便り

## 「第30回蚕糸の森まつり」へ啓発活動で参加

3月26日（日）に「第30回 蚕糸の森まつり」（蚕糸の森まつり協議会主催）が東高円寺駅近くの蚕糸の森で開催された。今年は雨天のため規模を縮小して杉並第十小学校の体育館での実施となった。NPOビーンは啓発活動の一環として参加し今年で6回目となる。

実施内容は最初に「自転車マナークイズ」に参加してもらいその解答用紙を持っている人を「じゃんけん大会」の参加資格ありとした。今年はまつりが30回という節目の年でもあり賞品に子供用自転車1台、大人用2台、計3台を用意した。

「じゃんけん大会」は午前1回、午後2回実施し優勝者は、全員が地元の和田町と高円寺在住の小学生だった。優勝者の1名は第十小学校を今年卒業の生徒で、たまたま近くにいた校長先生も大喜びしていたのがとても印象的だった。

